



キタ！からきた

だより 第164号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。
kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛

「こんなところに社会福祉士がいた！」



<大阪北支部・会員リレー紹介 050> レポーター（辻圭輔）

今回バトンを繋ぎさせていただいたのは、NPO 法人あい・すまいる淀川の代表である中川基宏さんです。あい・すまいる（敬称略）では、ヘルパー訪問事業、相談支援事業、放課後等デイサービスを運営されています。中川さんは、代表としての管理運営はもちろん、全ての業種の補欠要員として従事もされており、毎日忙しく活動されています。中川さんが社会福祉士の資格を取得したのは8年ほど前に遡ります。相談支援のサポートをしていた時に、在籍している相談支援専門員がだれも相談援助の国家資格を持っていませんでした。あい・すまいるは、平成24年から相談支援事業を立ち上げており、淀川区の中でも老舗的な存在となっています。その、あい・すまいるの相談支援が、より相談援助の専門性を発揮するためにも、中川さんが資格取得に踏み切られたのです。

社会福祉士として、大切にしていることをお聞きしたところ、「倫理綱領を意識して会話をする」ということです。利用者に不利な発言がないように、言葉尻などを大切にし、利用者とサービス事業所のちょうど中間に立って話をすることを実践されています。

その結果、利用者やサービス事業所、どちらからも信頼される存在になられています。

社会福祉士の存在や、資格に疑問を感じた瞬間もあったようです。しかし、試験勉強で学んだことや、倫理綱領が、実際の現場で活かされていることに気が付きました。現在は認定社会福祉士を目指し、基礎研修2を受講されています。これからも絶え間なく研鑽に励まれ、活発に活動される中川さんを応援していきたいと思います。



『大阪北支部 研修報告 ヤングケアラーの理解と連携』（2024/02/03）

大阪北支部では初となるヤングケアラー研修がオンラインで実施されました。当日は31名が参加され、他支部会員の方や児童分野、その他の分野で活動されている方など支部や分野を超えたたくさんの方に参加していただきました。本研修は2部構成となっており、前半は講師の水流添真氏による講義、後半はヤングケアラー当事者と講師による対談が行われました。前半の講義では、ヤングケアラーのおかれた状況や支援への繋がり難さについてご講義いただきました。分野の異なる専門職も子どもの意見を聴くことの大切さについて学ぶことができました。後半の対談では、子ども時代の思い出や大人になって振り返って感じることなどリアルな思いをたくさんお話しただけました。話を聞いてくれる人がいる、見てくれる人がいるということがとても重要であると学ばせていただきました。

今回の研修も参加者の方より大変ご満足いただきましたので研修終了後のアンケートより一部を紹介させていただきます。

「どのように声を掛けたらよいか迷っていたので、子どもさんの持ち物などで共通話題を見つけてみようと思いました。」「安心安全な大人が居場所となるということ。その存在が生きる力の根底になるということ。安心安全な大人となるには、ありのままの子どもに興味を持って声をかける、アイコンタクトでうなずく、話を否定しない、家族を大事に存在であること、など。意識していきたいと思います。」「当事者の話を否定することなく傾聴する姿勢で仕事をしていきたいと思う。」



大阪北支部公式 LINE アカウントのお知らせ（※他支部の方の登録も大歓迎です！！）

情報が早い！情報が手元に届く支部公式 LINE。現在、170名を超える会員が登録されています。LINE「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するか QRコードをスキャンしてください。

